

第10次中期経営計画

(2025年4月～2028年3月)

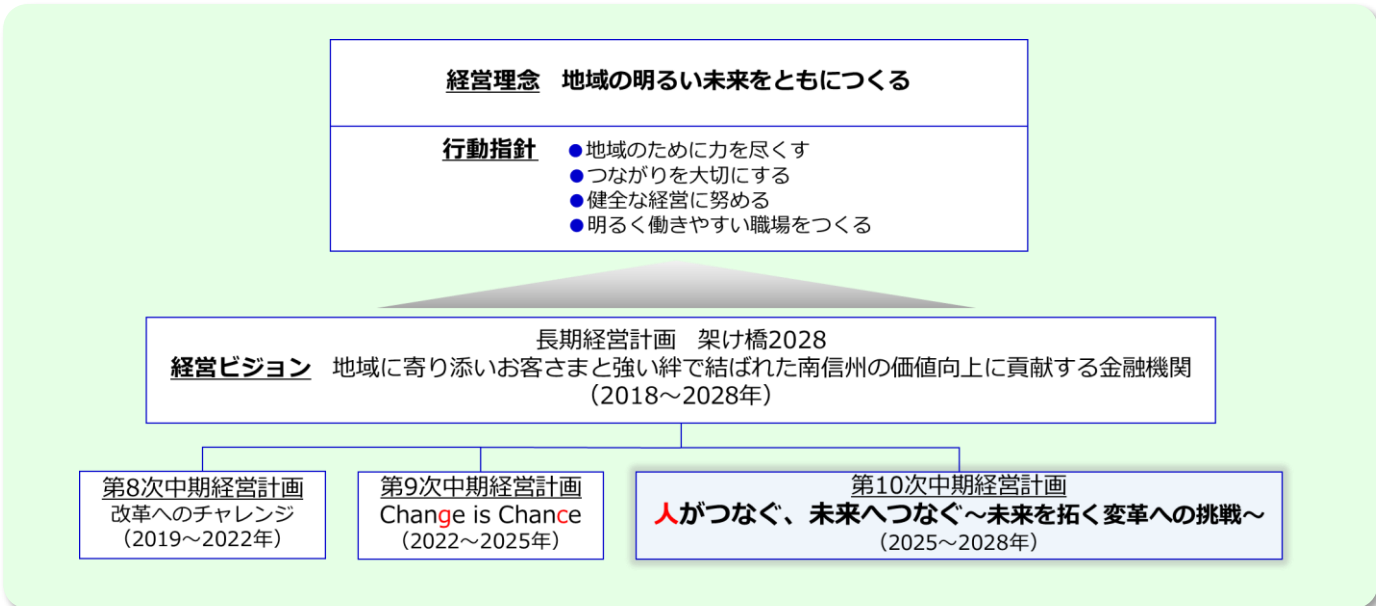
架け橋2028 Third Stage

「**人**がつなぐ、未来へつなぐ」～未来を拓く変革への挑戦

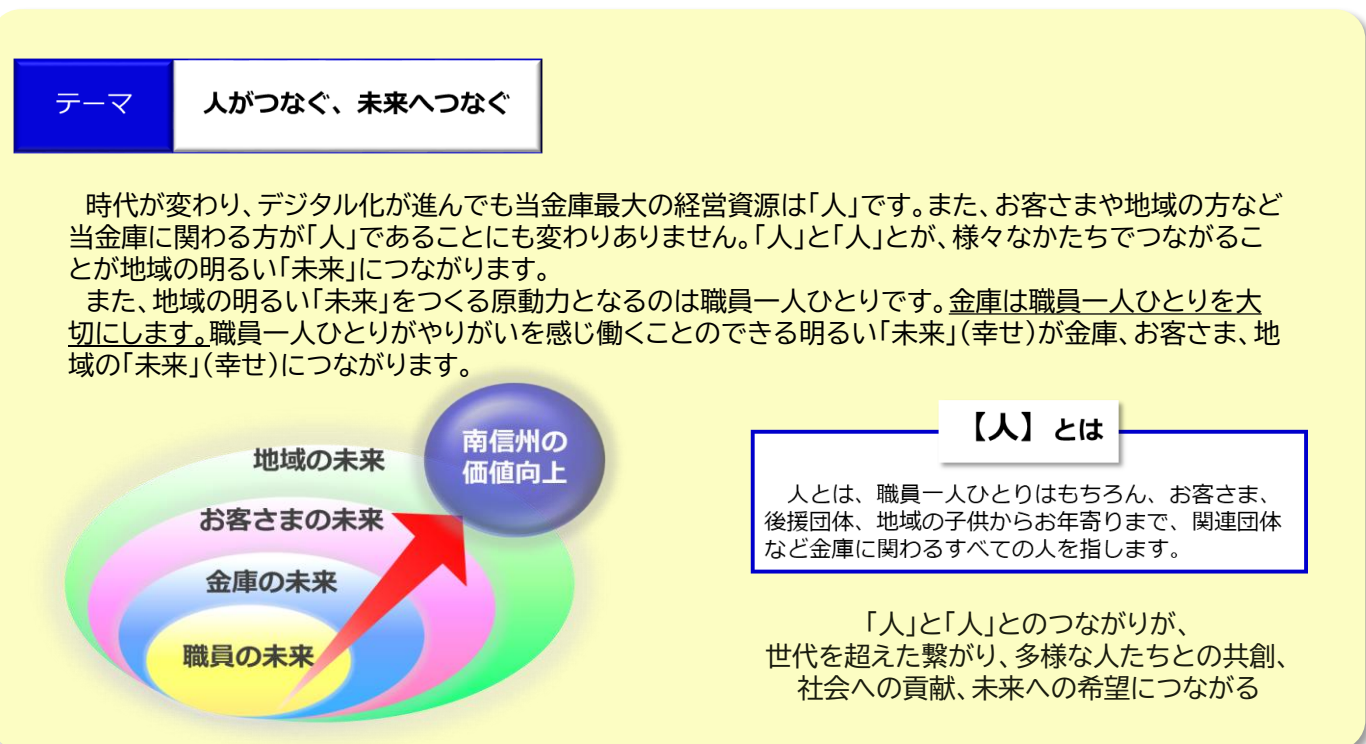
令和7年4月1日から始まる第10次中期経営計画では、テーマを「人がつなぐ、未来へつなぐ」、重点課題を「コミュニケーションプラットフォーム機能の発揮」とします。

お客さまや地域が必要とする「情報」が今まで以上に当金庫に集まり、蓄積する仕組みを構築します。そして、お客さまや地域に対する「情報」発信力・課題解決能力をさらに高め、お客さまにこれからも必要とされ、地域に無くてはならない存在となることで、長期経営計画で掲げる経営ビジョン「地域に寄り添いお客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関」を実現します。

■ 第10次中期経営計画の位置づけ



■ 第10次中期経営計画のテーマ



■ コミュニケーションプラットフォームとは

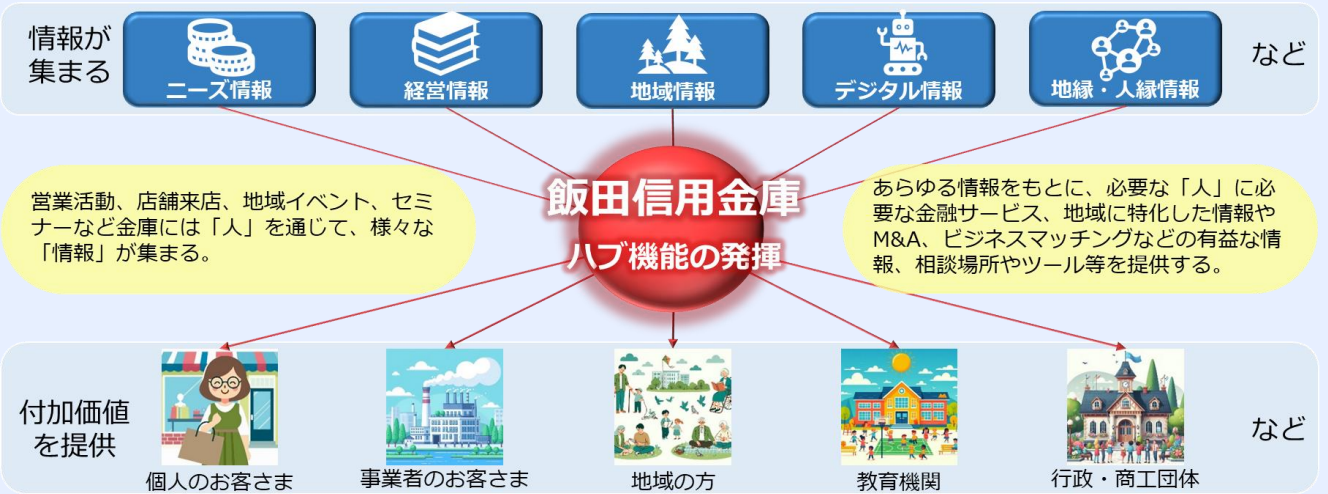
当金庫が目指すコミュニケーションプラットフォームは、地域の情報が自走し、情報の掛け合わせにより付加価値が生まれ、必要な人にタイムリーに情報やサービスが提供される姿です。第10次中期経営計画ではまず、環境整備や連携先との関係構築を進めます。

※コミュニケーションプラットフォーム実現イメージ



■ 第10次中期経営計画の重点課題

第10次中期経営計画では、地域のコミュニケーションプラットフォームのハブとしての役割を担えるよう、お客さまとの接点確保や地域内連携を強化し、今まで以上に金庫に集まる「情報」を増やします。また、組織や職場改革に取組み、「情報」を蓄積する仕組みを構築し、「情報」発信力を高めることで、課題解決支援業務の対象を広げ、地域課題解決や持続可能な地域づくりに貢献します。



第10次中期経営計画の概要

主要項目	主な内容
名称	架け橋2028 Third Stage 「 人 がつなぐ、未来へつなぐ」～未来を拓く変革への挑戦～
期間	2025年4月1日～2028年3月31日
テーマ	人がつなぐ、未来へつなぐ
重点課題	コミュニケーションプラットフォーム機能の発揮
重点目標	<職員> 職員が幸せに働く <お客さま> お客さまの「縁」と「いいね」を増やす <地域> 活力ある地域をつくる <金庫> 未来へつなぐ経営基盤イノベーション

重点目標に対する総合KPI

重点目標	総合KPI	10年3月末
<職員> 職員が幸せに働く	・エンゲージメント調査における改善率（2025年度比） ・シニア人財・外部出向経験者数	3% 15人
<お客さま> お客さまの「縁」と「いいね」を増やす	・IT・DX・創業・事業承継・M&A・PMI支援件数 ・「しんきんプラザみらとも」各種相談受付件数	530件 2,000件
<地域> 活力ある地域をつくる	・私募債（SDGs型、グリーン型）累計寄付額 ・PFIを活用した事業提案件数	3百万円 3件
<金庫> 未来へつなぐ経営基盤イノベーション	・コア業務純益（投信解約損益除く） ・生成AI活用、DX推進等による業務削減時間	30億円 10,000時間

第10次中期経営計画の全体像

